

日本ビオトープ協会 2022

ビオトープ No. 49

特集「外来種は悪者か？」



シラハマオーストラリアカブトエビ
(和歌山県西牟婁郡白浜町)
写真 木元 瑛那 氏(株式会社エコリス) 提供



特定非営利活動法人

日本ビオトープ協会

目次

巻頭言	頁
外来種は悪者か 人新世にはよそ者が新しい世界をつくる？ 立川 周二	1
特別寄稿	
外来生物は悪者なのか 五箇 公一	2
シリーズ連載	
ビオトープのいきものたち -その33- ため池の外来生物 神垣 健司	6
会員・BA等投稿	
キツツキ その1 内海 千樫	8
栗原川・ホタルの生息環境整備 山本 麻未	10
トヨタツリポート～現場は生きている～『トヨタツの森 TOYOTETSU FOREST』 松尾 義久	12
協会活動状況	
各地区委員会(8地区)活動 計画・報告等 ／協会活動 お知らせ、報告 各地区委員長／協会事務局	14
第12・13回ビオトープ顕彰 報告・各賞紹介	17
連載コラム	
里川のゆくえ その5 河川工事をみる 立川 周二	20

◇表紙・裏表紙写真の説明◇

・表紙「シラハマオーストラリアカブトエビ」

2015年に和歌山県白浜町の水路や水田などで発見された外来種です。養浜事業のため輸入したオーストラリア産の砂に休眠卵がまじっており定着したと考えられています。既存の生態系に及ぼす影響は不明です。

・裏表紙「バッタとにらめっこ」

毎年トヨタツの森で行う『TOYOTETSU EARTH KIDS PURO-JECT』の子ども達は、トヨタツの森で自由に観察し遊ぶことで、自然を身近に感じ、自然の大切さを学んでいきます。(詳細は本誌p.12-13をご覧ください)

